



マスクの入った封筒を手に伊深支部長（左）と滝川校長（右）

TOPIC
10
4
7

新型コロナウイルス 感染防止に役立てて

釧路地区農協青年部協議会マスク寄贈

釧路地区農協青年部協議会（對木賢雅会長）は、昨年に続き、釧路管内全小学校の新1年生にマスク2枚とマスクケースを寄贈しました。

この日、白糠町では白糠小学校（滝川敦善校長）を代表校として贈呈式が行われ、釧路丹頂農業協同組合青年部音白支部の伊深祐樹支部長が、滝川校長にマスクを30セット手渡しました。

伊深支部長は「牛柄のマスクを通して酪農や牛乳に興味をもってもらえたらうれしい」と話していました。

TOPIC
11
4
8

子どもの成長に必要な 牛乳の大切さを伝える

白糠高校に牛乳贈答券配布

町は、白糠高校の全校生徒67人に1人2,000円分の牛乳贈答券を贈りました。

町では、コロナ禍で落ち込んでいる牛乳の消費拡大と、栄養素をバランスよく含んでいる牛乳を、子どものうちから飲む習慣をつけてもらうため、15歳以下にも牛乳贈答券1人2,000円分を配布する予定です。

棚野町長は「生徒の皆さんにも牛乳の大切さをPRしてほしい」と話し、生徒会長の石井寿鶴さんに目録を手渡しました。※関連記事は17頁にも掲載しています。



「毎日牛乳を飲んでいます」という石井生徒会長

TOPIC
12
4
14

自転車の乗り方を身に付ける

白糠小学校「交通安全教室」

白糠小学校は児童に正しい歩行や横断、自転車の乗り方を身に付けてもらうため、北海道釧路方面釧路警察署の協力のもと「交通安全教室」を開きました。

交通安全教室は2学年ごとに行われ、児童はDVDを視聴し交通ルールを学んだ後、1・2年生は路上での歩行訓練を行い、3年生以上は、自転車の正しい乗り方を学びました。

前田珠杏さん（4年）は「久しぶりの自転車楽しかった。車に気を付けて乗ります」と話していました。



横断歩道は、自転車を降りて左右を確認してから渡りましょう

TOPIC
7
4
2

山の恵みメープルを堪能

驚きの森「メープル祭り」

上茶路の「驚きの森」で2、3日の両日「メープル祭り」が開催されました。初日から大勢の人が訪れ、イタヤカエデの樹液から作ったメープルシロップの甘さや香りを堪能していました。

会場ではメープルバーグやメープルワッフルのほか、4種類のチーズにメープルシロップをかけたピザなどが販売。同僚と訪れた釧路市在住の内山琴葉さんは、ピザを食べて「メープルの甘みがチーズと合っていて、とてもおいしいです」と笑顔を見せていました。



メープルシロップを使った樹液コーヒーやピザを味わう来場者

TOPIC
8
4
4

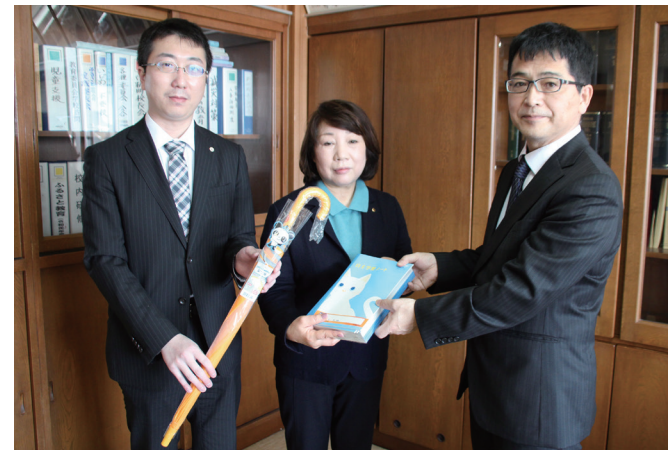
新入学児童の交通安全に

商工会が安全傘寄贈

商工会青年部（山本哲平部長）と女性部（高橋志保子部長）は、町内小学校3校の新1年生へ入学祝いとして安全傘と自主学習ノートを寄贈しました。

この日は、山本部長と高橋部長が白糠小学校を訪れ、滝川敦善校長に安全傘と自主学習ノートを手渡しました。安全傘は、傘を差した状態でも前が見えるように一部が透明になっています。

滝川校長は「子どもたちが安全に登校できるように、大切に使用させていただきます」と感謝していました。



左から山本部長、高橋部長、滝川校長

TOPIC
9
4
5

交通事故を未然防止

ライオンズクラブ交通安全看板設置

白糠ライオンズクラブ（富田忠行会長）は、国道38号線沿いや明治通りなどの通学路に、安全運転を促す啓発看板を設置しました。

新入学後に交通事故が増加する傾向があることから、同クラブでは毎年3月末から4月上旬に啓発看板を設置しています。この日は、会員5人で白糠地域に7個、西庶路地域に6個の看板を設置しました。

富田会長は「子どもたちの安全を守りたい」と交通事故がなくなることを願っていました。



「あぶない スピード落せ」と書かれた看板を設置しました